民青同.　11/5

# 本日の法・学生総会に参加しよう！

1時、工学部階段教室

学生大会実現了実行委員会（JⅠC、JⅡB、JⅡC、刑法、甲斐、労働法、法哲ゼミ）

全法学部の学生諸君　学生大会実現了実行C（JⅠC・JⅡB・JⅡC・甲斐ゼミ・刑法・法ゼミ・労働法ゼミ・法哲ゼミ）は本日の法学部学生総会にすべての法学部学生が参加し、あらゆる創意とエネルギーを結集して全法学部学生の意志統一をかちとるため奮斗されることを再度訴えたいと思う。すでに実行Cが提起したよびかけに対し、ほとんどのクラス・ゼミで討議が行なわれ、広範な批判を結集して第2次案が作製されている。またJⅠC・JⅡC・で総会に責極的に参加しようとの決議が行なわれ、クラス・ゼミぐるみでとりくもうとしている。すべてのクラス・ゼミがこれまでの討議をふまえて積極的に意志を結集していこうではないか！

実行Cは本日の学生総会において全法学部学生の一致点、当面の要求項目をつくりあげ之れを断固貫徹する意志統一を行う必要があると考える。現在の市大の情況は内外からの自治破壊のためまさに危機的である。立法を強行した政府反動は、それをテコとして全国の大学への介入その反動的再編を進めようとしており、市大は全国重点校のうちのひとつに指定されている。市当局は復旧予算を出さないばかりか、医学部廃部の方向さえうちだしてきている。その中でいまだ授業が再開されていない学部さえある。全共斗は機動隊さえ帰れば再封鎖しようと策動しており、しかも学生自治会は依然崩壊している。8ケ月間の暴力支配を通して、そして今また機動隊の常駐、当局の一方的なカリキュラム、団結のカナメである自治会の崩壊等々の現状の中ですべての学生が今、緊急に解決しなければならない問題をかかえ展望を求めているのである。しかも具体的に行動した者なら誰もが知っているように、ひとりひとりの要求がバラバラに出ても全く実現できない。カリキュラムを変えさせることすらできないのである。こんな状態で市大を民主化していけるだろうか。すでに学生の中にはあきらめる者さえでてきている。何としても一つの大きな力にしていかねばならない。ひとりひとりの権利を守り、法学部民主化のため、あらゆる要求を整理し8ケ月間の総括を教訓にし、学生の団結を固め当局との団交を堂々と勝ちとっていこうではないか。そうしてこそ市大の反動的再編を阻止していけるのである。

実行Cは本日の総会が我々の提起した5つの一致点で学生の団結を固め法学部学生が全学の学生の先頭に立って、学生大会実現　市大民主化の展望を切り開く決起の場となるべきであると考える。実行Cに結集するクラス・ゼミの学生はこれまで一貫して封鎖粉砕・立法粉砕・市大民主化・授業再開のスローガンを高々とかかげ、暴力に屈せず、内外からの自治破壊をあいまいにせず、全学生の団結を勝ちとるために斗ってきた。我々は、機動隊によって封鎖が解除された現在も市大の危機は依然として解消しておらず、今こそ5つのスローガンを全体としてとらえ貫徹していくことの必要性を感じる。再封鎖と機動隊の立法と自治組織などの関連を深め明らかにし、これをバラバラにとらえようとする傾向の誤りを指摘し、着実に輪をひろげ本日ついに法学部学生会を準備できるまでになった。今こそすべての学生が再封鎖を阻止する決意を固めて、真に当局管理大学・反動的再編をを許さない力を構築していこう。我々は本日の総会が何よりも大きな任務としているのは全法学部の学生が当面の一致点、民主化の方向性を明らかにし、団結を固めると共に法学部全学生の団結を保障し、民主化を具体的に勝利していくところの自治組織、学生一人一人の権利を真に守るための武器となるべき自治組織、法学部委員会の再建という事業に具体的にとりくみはじめることと、また法学部再建まで当面の要求項目をかちとるための臨時代表団の選出であると考えられる。我々ひとりひとりの要求と権利を保障し、反動勢力と真に斗っていく力をもった自治組織をつくりあげ、すべての学生がここに結集して斗っていくことの重要性・緊急性はこの8ケ月の教訓として、そして現在の市大の情況の中でますます明らかになっている。本日の総会はまさにそのような課題に答えるものでなければならない。

すべての法学部学生の力で本日の総会を圧倒的に成功させ、全学の学生に対して展望をきり開いていこうではないか。築きあげてきたクラス・ゼミでの団結の力は、あらゆる困難、あらゆる妨害に打ちかつであろう。